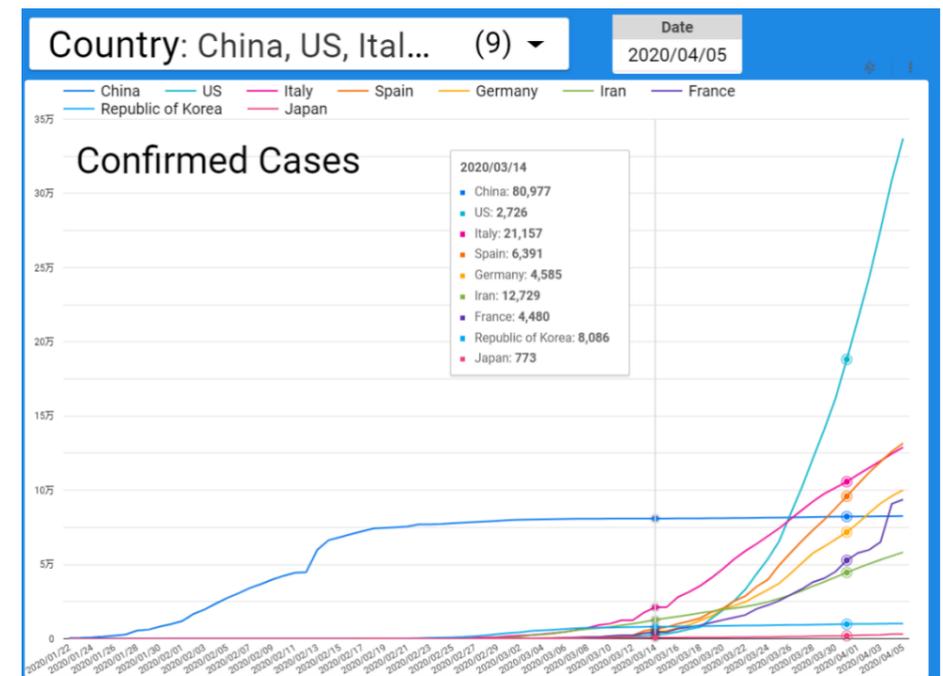
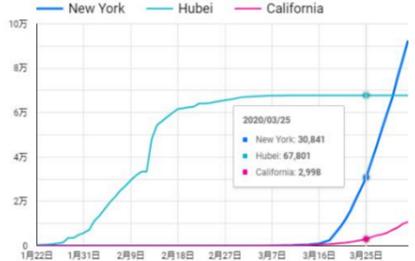
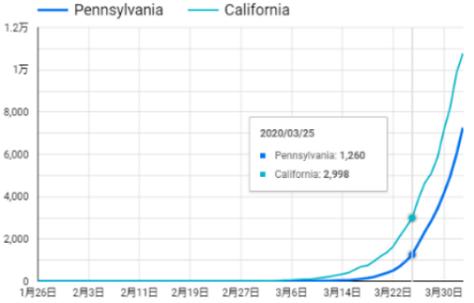
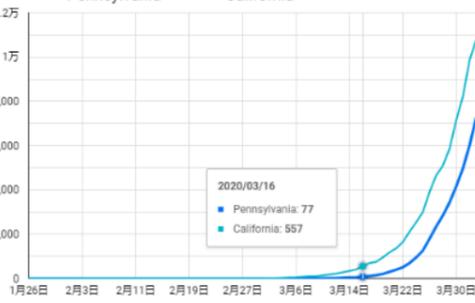


<p>情報ソース</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園と都市市民の健康一般 都市公園の果たす役割 WHO との役割の違い COVID19 対策 	<p>ParkRx of America Robert Zarr (Pediatrician, Unity Health Care) City Parks Alliance Catherine Nagel (Executive Director) World Urban Parks Neil McCarthy (CEO) Benjamin Jonah (Secretariat Coordinator) Pittsburgh Parks Conservancy Jayne Miller (CEO) 880cities Canada Gil Penalosa (Founder & Chair) Hortis France Elisabeth Fournier(Vice-Présidente) WEBINAR PARK LEADERS AND COVID-19: SERVING THE COMMUNITY IN CHALLENGING TIMES 25thMarch 2020 (CPA) ※相互の情報交換に尽力されている各機関の方々、情報を提供していただいたの方々、Web 会議やメールでアドバイスをいただいたの方々にお礼申し上げます。</p>	
<p>都市公園運営に携わる各団体の共通した意識</p>	<p>COVID-19 拡大防止のため、市民が屋内にとどまることを強いられている。感染リスクを最小限に抑えて健康を維持するために、安全距離の必要性と身体活動を続ける必要性のバランスをとる方法に努力している。 CPA 共同議長 Nancy Goldenberg (WEBINAR PARK LEADERS AND COVID-19 25thMarch)</p>	
<p>基本事項</p> <p>WUP など各都市のメンバーからの意見をまとめた</p> <p>WUP 声明を作成する段階での協議を参考に作成</p>	<p>都市公園（オープンスペース）の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体活動と精神的緩和の両方のための安全な屋外スペースを提供 ストレスの多い時期にウェルネスを維持 肉体的および精神的幸福に不可欠 無料の開放されているエリア (NY) 新鮮な空気を得て屋外の健康を楽しむ場所 (NY) 公園は労働者が必要不可欠なサービス (SF) 社会において弱い立場の人に場所を提供 <div data-bbox="706 814 2392 1054" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><都市公園での対応方策></p> <ul style="list-style-type: none"> 公園やトレイルを安全に利用するために誰をどのように教育しているのか 既存のプログラムを現在のニーズに合わせてどのように適応させているのか 新たな提案を発信する際にどのように調整しているのか すべてが日々変化している事に対し組織としてどのように対応しているのか 適切な衛生（手洗い・咳エチケット等）と社会的距離の使用について ※使用されている“Social distance”を” Physical Distance”と訂正する向きがある。 </div>	<p>公衆衛生上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的距離公衆衛生ガイドラインの厳守 公衆衛生ガイドラインと指令の地域による差異 高齢者などの COVID19 に対して脆弱な人々への対応 子供、ファミリー向け 精神衛生上のケアと場所の確保 活動的な壮年期の人々のエクササイズのための場所の提供 若い世代の利用に対する注意点、特に社会的距離の確保、高齢者への配慮とお願いの徹底 公平で公正な利用
	<p>アメリカ合衆国 COVID19 対応</p> <p>1月21日 疾病対策センター（CDC）は新型コロナウイルスの感染症例を国内で初めて確認したと発表した。中国からワシントン州シアトルに帰国した30代男性。</p> <p>2月2日 中国からの全面的な入国制限を開始する。</p> <p>2月18日 上院議員グループが、感染症対策の調整役に専門家を採用するように求める書簡を国家安全保障担当補佐官に送る。</p> <p>2月29日 ワシントン州知事は非常事態宣言を出し、徹底した感染テストの実施、介護施設入所者等について厳重な警戒態勢をとると発表。シアトル周辺で開催予定のイベントの中止を検討するとともに、市民には手洗いを徹底するよう警告した。</p> <p>3月2日 アメリカで初の死亡報告。ワシントン州シアトル市 EvergreenHealth Medical Center で50代の男性。</p> <p>3月11日 英国を除く欧州に過去14日間滞在した外国人の入国を30日間禁止する措置を13日から行う。(感染者数1025人、死者数25人)</p> <p>3月13日 新型コロナウイルスの感染拡大に対処するため国家非常事態を宣言した。</p> <p>アメリカの COVID19 対策についての新聞記事 The Wall Street Journal 19th March 2020 米政府のコロナ対策、検査拡大よりも「社会的距離」の重要性強調へ</p> <p>概要：政府高官は今週、診断は重要だが、重点的に強調すべきではないとし、地域でのウイルス感染を阻止するためには社会的距離戦略の方が重要だと指摘。「人々がまるで特効薬かのように検査に注目することは望まない」とし、「個人が本当に社会的距離を置くことが成功の鍵となる」と語った。</p> <p>政権は今週に入り、社会的距離の確保を強調している。トランプ政権関係者はこれまで、広く検査を実施するとし、米国人は検査を活用すべきと呼び掛けてきたが、そうした姿勢を一転させている。社会的距離の確保とは、集会を小規模なものに限定したり企業や学校を閉鎖したりし、互いに約2メートル離れた距離を保つことで、忙殺される病院の負担を減らすために強調されている。</p> <p>※感染者数などのグラフは、Data source : JHU CSSE Covid19 Daily Reports を利用して作成した。 https://scitechlabo.blogspot.com/2020/02/covit-19data-source-jhu-csse-covid19.html</p>	



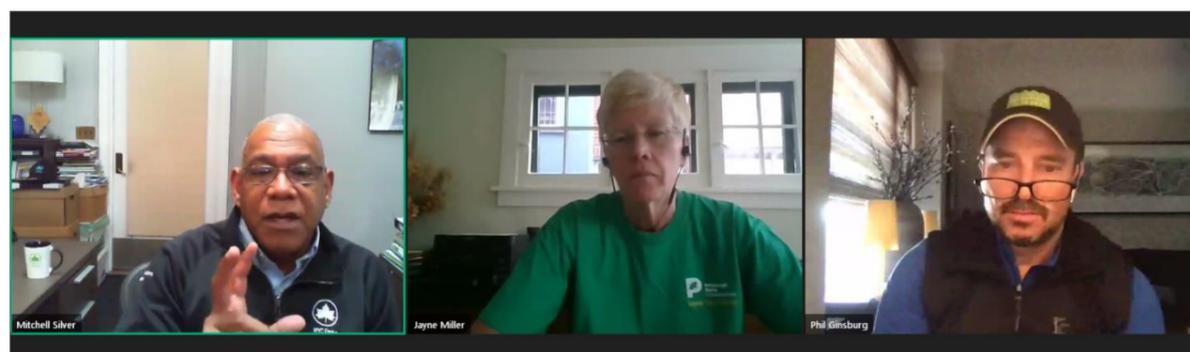
	NYCPD (ニューヨーク市公園およびレクリエーション局) Mitchell Silver (局長)	PBC (ピッツバーグパークコンサーバンシー) Jayne Miller (プレジデント兼 CEO)	SFRP (サンフランシスコ レクリエーション&パークス) Phil Ginsburg (GM)
	ニューヨーク州 1,938 万人 14.1 万 km ² ニューヨーク市 817 万人 790km ² 状況: ほぼ都市閉鎖 (3/22)	ペンシルベニア州 1,207 万人 11.9 万 km ² ピッツバーグ市 30.5 万人 151km ² 状況: 感染拡大	カルフォルニア州 3,725 万人 42.3 万 km ² サンフランシスコ市 85.2 万人 600 km ² 状況: 都市閉鎖 (3/17)
社会情勢	ニューヨーク州 3月1日 ニューヨーク州で初の感染者 イランからの帰還した看護師 3月2日 クオモ州知事とデブラシオ NY 市長が共同記者会見 3月3日 NY 市で感染者が確認 3月7日 非常事態宣言 (感染者 76 人) 清掃用品や消毒剤の迅速な調達, 研究室の迅速なリース, 試験資材・機材の迅速な調達等が目的 3月10日 「封じ込めエリア」指定 3月16日 ハイライン閉鎖 3月18日 全企業・店舗に「在宅勤務」導入を義務付け 3月30日 すべての病院に「病床倍増」を要請 4月1日 クオモ知事 NY 市内の公園の遊具やバスケットボールコート の封鎖を指示 	ペンシルベニア州 3月6日 非常事態宣言 (感染者 2 人) 州の非常事態担当部局に州の人員や資源を指揮・管理する権限を付与する 	カルフォルニア州 1月27日 ワシントン州に続き 2-3 例目、が確認 3月16日 公立学校閉鎖 3月17日 サンフランシスコ市と周辺郡 不要不急の外出の制限 3月20日 カルフォルニア州全体でも自宅にとどまるように命令 ホームレス救済にホテル借上げを発表 
感染拡大初期	利用状況 CPA 主催の Web 討論 3 都市代表の発言を軸に各都市の状況をまとめた。 <p>NY 市の感染の拡大が急速であったために拡大初期の期間が極めて短い、もしくは時期を明確に分けられない。</p> <p>3月3日 NY 市での初感染者確認。100 例を超えたのが 8 日、19 日に 5,000 人を超えている。</p> <p>3月3日 1 人、6 日 36 人、8 日 106 人、11 日 173 人、16 日 967 人、19 日 5,365 人、21 日 11,710 人、25 日 30,841 人、30 日 66,663 人</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況により、遊び場やフィールド、コートを開鎖するより厳しい措置に移る (3月16日から公立学校が閉鎖) タイムズの記事「すべてが閉鎖されている。開いているのは公園だけだ。」公園は無料で、学生が新鮮な空気を求めて公園に集まった。肉体的健康と精神的健康の維持は免疫力を高める。公園の利用では安全な距離を保てるかが課題。 警告文 CAUTION Playgrounds are not sterilized; play at your own risk. Social distancing is required: 6feet between each child NOT in immediate family Limit number of people playing at one time Visit nyc.Gov/coronavirus for more information. For translation services, call 311. 「プレイグラウンドは消毒していません。使用は自己責任で」「6 フィート (約 1.8 メートル) のソーシャル・ディスタンスを取ること、人数制限あり」と明記。  <p>柏原雅弘氏撮影 (NYC 在住フリービデオグラファー) https://japan-indepth.jp/?p=50858</p>	3月25日現在 都市公園の役割について (J.Miller) <ul style="list-style-type: none"> 感染からの安全を確保し、なおかつ、人々の健康とウェルネスが最優先事項である。 緑地と公園と小道をどのように使用するかは本当に重要である。プログラムの中止/変更にも、細心の注意を払い行っている。 公園スペースは肉体的、精神的、そして感情的な幸福のために必要であるため、公園の安全な利用を確保する。 <ul style="list-style-type: none"> すべての施設、遊び場は閉鎖されている。 プログラム、イベントは延期もしくは中止している。 組織内で非常に多くの調整が生じ情報伝達が重要である。 全員が同じメッセージを確実に受けられるようにしている。スタッフはどのような決定が行われているかを知り、規制要件の変更に応じて 1 日に何度も定期的に伝達している。 COVID19 の情報で疲弊することを危惧している。 ピッツバーグ市は市民が公園を大切にしている。数週間前に感染が開始されたとき、公園の利用は増えていた。SNS、写真、から見ても公園を歩いている人や滞在する人は、実際にかかりの数を占めた。すべての公園をウォーキング、ランニング、サイクリングのために確保し、政府の規制に適用されている社会的距離の確保の重要性を発信した。 子供向けのホームスクールを支援する Web 教育も提供している。これまでも有効な環境教育プログラムを実施しているため、保護者や家族がホームスクールに使用できるビデオと Web 討論 (ウェブナー: ウェブセミナー) を作成できる。 園芸と林業のスタッフをビデオや Web 討論の開発に参加させている。 フロリダとカリフォルニアで起こったビーチと公園の閉鎖に警戒している。(大学生がビーチ、公園に多く流入し感染拡大防止の統制がきかなくなった。) 地元では公園を閉鎖したい場合の準備をしている。 	3月25日現在 都市公園の役割について (P.Ginsburg) <p>公園は非常に重要です。都市公園のプロとしての観点から、さらに公園を充実させなくてはならないことを訴えてきたが、そのことに市民も気づきだしている。公園は必需品です。公園は不可欠なサービスです。労働者に不可欠です。公園は、肉体的および精神的な幸福のために不可欠です。</p> <ul style="list-style-type: none"> おそらくこれまでにないほど公園の利用が増えている。 人々は概して安全距離のガイドラインに準拠しているが、全員ではない。課題は、全員が同じく遵守することである。 公園の利用が非常に多くなるとジレンマや課題が生じている。 すべてのプログラムは停止している。 公園は開いている。 小さな遊び場のいくつかを閉鎖し、遊具の周りに閉じた旨の看板を設置するという追加の措置をとった。 35 のすべてのレクリエーションセンターを緊急保育所に改造した。 学校は現在 5 月 1 日まで閉鎖されている。 サンフランシスコ市民、医療従事者の家族、および災害サービス従事者に配属された市職員に保育を提供している。K-eight の保育も 1 日 3 食で提供している。 公園部局のスタッフを誇りに思う。素晴らしい対応と本当に高い士気を持っている。カストディアン※は文字通り公共部門の功労者である。彼らなしでは、すべてが閉鎖されてしまう。カストディアン、保育事業に常勤しているレクリエーションスタッフ、公園を清潔で安全な状態に保っている清掃員、そしてもちろん、すべての部署の準備オペレーションチームに派遣されている 40 人を誇りに思う。 <p>※Parks Custodian jobs さまざまな公園やレクリエーションプログラム用の機器の設置と撤去を支援し、公園やレクリエーションプログラムを使用するための施設を準備する。 年俸 2.4~2.8 万ドル 260~300 万円 Custodian: 施設の管理や運営を行う技術を持つ要員</p>

	<p>対応策 情報共有発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3月27日から COVID19 対策の新しいサイトが公開され、ツイッターやインスタグラムでも情報発信する。 ・私たちのメッセージは、手を洗うこと、不用意に顔に触れないこと、社会的距離（※物理的距離）を厳守すること。 ・一方、人々が孤立し、つながりを維持する必要があることを理解している。 ・電話、PC、iPad が私たち全員のつながりを維持し続けるための優れたデバイスと優れたツールになっている。 <p>スタッフ向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢のスタッフに対し連絡を取り、彼らがどのように働いているかを確認するための電話バンクが作られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディア、メール、ブログ、写真など、複数の媒体を使用して一般に情報公開している。 ・公園が開いている事を伝える。「市街地は閉鎖されているが、公園は開いている」 ・報道機関に協力し情報提供し、公園が不可欠である理由を市民に伝え理解してもらう報道を行う。 ・学校が閉鎖されたとき、「保護者を支援する情報」を増やし、子供たちが安全に行うことができる活動を提案することに公園からの発信をシフトした。 ・グラフィックとミームを活用してコミュニケーションを図り、FAQ も作成した。人によって情報を得る方法が異なるため、複数の通信チャンネルを活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の最大の課題は、市民への情報伝達と意志共有の難しさである。 ・私たちのメッセージは、「外に出て、運動をして、自然とつながり、集まらず、自分の居場所を見つけてください」 ・私たちは、パークシステム全体の物理的な看板のほかに、Instagram などのソーシャルメディアを通じて、社会的距離の厳守を強調している。 ・サンフランシスコのアスリートやセレブは、1 つの政府機関よりもメッセージの拡散が効果的である。私たちが主張するメッセージを広げてもらうことを検討している。
<p>RockDown (都市封鎖)</p> <p>3月13日 国家非常事態宣言</p>	<p>対応</p>	<p>3月22日</p> <p>「必要不可欠な職務の労働者以外の 100%の出勤禁止と、市民の可能なかぎりの自宅での待機」の市長指示を発表。 事実上のロックダウン</p> <p>3月24日からは、適切な衛生管理と社会的距離の啓発のため警察、公園局、その他の機関が都市のさまざまな場所に出向いている。</p> <p>3月25日時点での当面の対応（局長談話）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出勤、日常の運動での公園利用は許されている。 ・公園、フィールド、コートของกลุ่ม利用は許可されず、単独での利用だけに制限されている。遊び場はまだ開いているが、自己責任で利用させている。(前記述警告文参照) ・健康の専門家に従い、適切な衛生と安全な距離の確保について公園入り口に看板を設置している。 ・すべてが日々変化しているので、主任チームと1日に複数回の連絡を取り合っており、スタッフに指示を出している。 ・公園内で安全距離（社会的距離）が守られているかの評価が判断の基準の一つとしている。 ・複数いるコミッショナーへの報告は、関係者全員が集まることのできる夜にオンラインで行っている。(Zoom、Google ハングアウト)最後の電話会議は、20:30頃から約1時間行われる。(以上、局長談話) <p>・市長は公園などでの複数人数で行うスポーツを禁止する通達を出した。市長は、もし市民がルールを守らないならばまず公園を閉鎖すると警告している。(3月30日には遊び場(Playground)は閉鎖された。)</p> <p>(4月1日 クオモ知事 NY市内の公園の遊具やバスケットボールコートの封鎖を指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューヨークは都市封鎖後、生活に不可欠なスーパーマーケット、医療機関、郵便局などの事業以外は閉鎖している。散歩や自然の中での運動は許されているが、緊急以外で別居している家族や友人を訪ねることは禁止。他人から6フィートの距離を保つこととされている。(4月6日現在) 	<p>3月25日の時点では、ロックダウンは起きていない。</p> <p>現在の体制について（ロックダウンに備えた体制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園を維持管理しているコンサーバンシーは、ピッツバーグ市の非営利パートナーであるため、ニューヨーク市やサンフランシスコ市の組織とは異なる役割を果たしている。 ・私たちは市と非常に密接な関係にある。定期的に、市のスタッフと公園、レクリエーションスタッフが協力して、公園の問題に取り組むためのアプローチを調整している。 ・両方の組織にとってシームレスなアプローチとなるように、維持管理業務、運営管理業務、および閉鎖されている施設の運用に関する方針について情報共有している。 <ul style="list-style-type: none"> ・COVID19 対策は保健部が中心である。 ・3月18日に市が緊急作戦を開始しレベル2に入る。 ・地域の保健局、州、知事、市長の決定に、コンサーバンシーは完全に従っている。 ・公園サービスの提供の状況については、市のスタッフと緊密に調整している。 <p>※急速な感染拡大に対する作戦立案には、管理団体(PPC)は関与できていない。市職員を通して現場の情報を提供している。少しもどかしさが伺える。</p>	<p>2020年3月17日</p> <p>サンフランシスコ市は、ロックダウンが開始された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知事はカリフォルニア全土で地域の緊急事態を宣言した。 ・公園部局は市緊急オペレーションセンターの指揮下にある。 ・非常事態宣言以降、保健部門が緊急オペレーションチームを指揮した。 ・市長と施策決定する代表者に、対応方法について助言することで、保健部門を支援している。 ・公園部門は、感染リスクを最小限に抑えることを目的とした保健部門からの指示を市内の現場で実施している。私たちが行うすべての決定は健康の優先順位付けに関するものである。 ・保健部門との調整で緊張が起こったのは、公園の運営と健康の運営での優先順位、バランスの取り方である。 ・肉体的な健康と精神的な健康を維持する必要があるというのは、私たち全員の共通した深い信念である。この感染拡大の解決方策の一つとして、公園は、絶対に不可欠な役割を持つ。 <p>電話会議を軸にしたオペレーションの決定と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園部門は保健局と市長から指示を受けている。基本的にサポートの役割を担っている。ガイダンスを受けるとともに、さまざまな問題についての意見を求められる。 ・夕方からの各部署との検討と決定事項の伝達、日中の実施、成果の検証と次なる対策検討が繰り返し終わりのない作業が、緊急オペレーションで行われている。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎晩6時に電話会議で、市全体の指導者とともに市全体の政策グループに参加する。 ・午後1時30分 部門レベルの運営に関する電話会議。 ・午後3時30分 部門ポリシーグループの電話会議。 ・また、緊急保育業務にも携わっているため、複数のエージェンシーが毎朝午前10時に緊急電話をかけるため私は基本的に一日中電話をしている。 ・公園管理の責任者チームは、昼と夜の間に仕事をしている。

<p>ロックダウン時の弱者対応</p>	<p>(局長談話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上の人、健康な状態のある人、外に出て運動できる人に対して注意を払う(利用調整の必要?) お互いの距離をとるように現場に指示している。 ・単独の運動だけを認めている。 ・高齢者が犬を散歩しているときに、「安全な距離、できるだけ多くのスペースを与えてください」と人々に訴えていると報告を受けている。 ・ペットを連れ出すボランティアをしてくれる人がいて、自分で行う必要がない場合、高齢者は家に留まる。 <p>(→バリ市では、犬の散歩が許可されるため犬のレンタルがある。高齢者のフレイル、認知症進行を抑えるための日常習慣の維持、適度な運動の維持が必要である。)</p> <p>・3月27日から、オンラインプログラムを開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい部門で、ヨガ、シェイプアップ、アートまで豊富にある。 ・学校が閉鎖に対応して、オンライン学習を開始した。子供たちが関わるができるすべてのものについて提供されている。 <p>(普段公園で行っていたノウハウの展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーは公園でツアーやライブフィードを提供していた。 ・桜の展示会ではすでに Web で配信。ここニューヨークは春なので、人々はそれらを見ることができる。 ・高齢者が自分のコンピュータでアクセスできれば、彼らは楽しむことができる。 <p>食品流通センターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、ニューヨーク市は学童の食事を1日3回提供している。彼らの学校で入手できる。 ・高齢者にも食糧を届けようと計画している。必須と非必須なものの仕分けが行われている。(4月2日から開始) <p>(以上、局長談話)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・サンフランシスコ市の基本的な対策の方針 社会的距離を確保する 離れて過ごすことを徹底する。 このため、公園管理者と警察は協力してこのガイドラインの重要性を各地域に伝え、説明し、集まらないようにしている。 ・サンフランシスコ市は、非常に多様な言語都市である。 最も古い公共スペースの1つはチャイナタウンのポーツマススクエアと呼ばれ、ポーツマススクエアが彼らの唯一のリビングルームになっている。 SRO (シングルルームの居住スペース) に住んでいる多数の単一言語の中国語話者がいる。そこで、公園部署は中国語を話すフルタイムのパークレンジャーをこの地域に配置し、地域コミュニティにガイドラインの啓発を行っている。 「出てきて、歩き回って、新鮮な空気を取り入れてください。しかし、ポーツマススクエアでは、いつものように仕事はできません。」 ・最も保健部門との調整で緊張高まったのは、いくつかの小さな遊び場の閉鎖でした。これらの小さな遊び場の多くは、歩くのには十分に大きくない。また、封鎖しにくい遊具があった。しかも、それらのいくつかは低所得者居住地の近所にある。よく使われる太極拳のための場所では、使用時に密度が高い傾向があった。 ・これらの場所を使用することにはリスクはあるが、それらを使用する人々は非常に狭い窮屈なスペースに住んでいることが多いため、閉鎖を実施することでの弊害があった。血圧、メンタルヘルスなどについて弊害と、どのようなトレードオフを行うのが良いのか、場面ごとに対処する必要がある。 ・非常に深刻な考慮事項は、一部のサンフランシスコ人は、近所の公園よりクリッシーフィールドやゴールデンゲートパークに行く方が容易で簡単です。しかし、サンフランシスコで最も貧しく、サービスが行き届いていない地域の住民は、本当に行く場所がない。緊急事態では特例も必要である。
<p>体制</p>	<p>(3月25日局長談話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流行は非常に深刻であり(ニューヨーク市だけでも15,000人に近い)緊急性の低い作業のスタッフは給料を保障して在宅待機させている。一部は閉鎖があり、人員を再配置している。食品流通センターを支援したり、待機された従業員を呼び出したりする電話バンクができた。 ・電話バンクは、高齢スタッフの働いている環境を確認し、スタッフの安全、本人の希望の把握に努めている。 ・テレワーク体制:約7,000人のスタッフのうち、テレワークできる職員が3,200名ほど、このうち1,800人のノートPCを急ぎ準備する必要があった。 ・従業員の健康状態に関するCDCガイドラインがある。 組織内で感染者がでた場合の対応として、適切な職場のクリーニング方法、感染者が職場に復帰するまでの過程と戻れるまでの時間がさらされている。 HIPPA※との機密保持のため後者の情報はスタッフに開示していない。 <p>※HIPAA (Health Insurance Portability and Accountability Act of 1996;医療 保険の携行性と責任に関する法律。米国 DHHS (保健社会福祉省) は健康情報に関するプライバシールール及びセキュリティルールを策定 HIPAA セキュリティルール: 電子的に保持・移動される健康情報のセキュリティに関する国家基準を設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市がレベル2の緊急運用ステータスになったとき、市からの指示で、重要な作業以外のすべてのフィールドスタッフを公園から引揚げた。 ・次の段階では、フィールド作業もすべて引揚げる必要がある。 ・そのため、ほとんどすべてのスタッフがリモートで作業している。 ・現在、財務状況の再評価を行い2020年だけの対応でなく、25年間行ってきた作業を長期にわたって継続して実行するための解決策を見出す。 	<p>カテゴリ1: 災害サービス担当者 COVID19に直接関与する災害サービスワーカーが該当する。 緊急保育所を運営しているレクリエーションスタッフ、社会的距離を教育するパークレンジャーが含まれる。 公園部署の部門オペレーションセンターの各支店に新たに配属された40人が該当する。 また公園部局のスタッフが、市全体で他の部署の支援をする。 トラック運転手はRVと避難所を持ち込み、陽性反応が出たホームレスを隔離している。</p> <p>カテゴリ2: 組織の機能毎に必須・非必須労働者に分けられる。 必須労働者: 事業の継続に必要な人材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が開かれているため、公園のメンテナンススタッフ全員及び、インフラストラクチャ維持のため重要な人員である。公園やゴルフコースから離れることができない。 ・必要不可欠な人々のカテゴリでは、さらに細かく分類して、「誰が在宅勤務でき、誰ができないのか」分けている。 ・在宅勤務ができる場合は在宅勤務であり、できない場合は通勤する。 <p>非必須労働者: COVID19対策において現状では必須ではない部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慈善活動とパートナーシップの仕事、ボランティア活動と許可活動の一部。

				<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が継続している場合、すべて在宅勤務で行い。 ・在宅で仕事ができない場合、業務は中断、職員は有給休暇を取る。4月27日まで継続して給与を支払うことが市全体のポリシーである。 ・給与の保障対象は常勤で定期的に勤務する従業員である。 ・季節従業員や臨時従業員の一部には課題がある。現在は、状況に応じて多くのカストディアン、パークレンジャーが必要なため、それらのほとんどを雇用できている。 <p>従業員の休暇申請</p> <p>身体的に虚弱もしくは60歳以上のスタッフは、家に留まることを勧めている。個人情報にかかわる。スタッフが遭遇する場面に危険がある場合についてスタッフの不安を理解した対応である。家に留まる希望者に非常に寛容に対応している。気分が悪い、または症状が出てきた家族がいるなどの理由で家に帰る場合には、家に留まるように求める。その場合は、独自の有給休暇残高を使用することになっている。</p>
<p>今後に向けて</p>	<p>雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規雇用 ・臨時雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアプログラムの実施を許可していない。 ・季節雇用の面では、現在、一時停止した。 ・季節とともに雇用のガイダンスを行う予算事務所がある。一時停止するという決定までは、すべての自治体のオフィスで社会的距離を守りながらの面接を行っていた。しかし、今のところ、何が起こるかを判断できるようになるまで、一時停止している。 ・状況が刻々と変わるので先はわからない。(現地3月25日時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実的な観点から、財務の観点からも、損失を最小限に抑え、できるだけ多くのことを保障するために、最も強力な財務状態にしなくてはいけない。 ・現在、組織の重要な部分のために、パートタイムのスタッフがいる。 ・安全のため、ボランティア活動もすべて中止した。現在、採用は行っていないので、保留にしたフルタイムの空ポジションがある。 ・今後稼働が可能になり次第、季節毎に重要なポジションが生じるので、スタッフの採用を行える組織のシフトを組んで準備している。 ・資本プロジェクト、季節の採用、プログラムサマーキャンプ、アクティビティを実施する準備ができたら、バックアップと実行が遅れることがないようにする。 ・コンサーバンシーは、雇用しているのではなく、自分の組織内のポジションを決めて準備をしている。 ・どちらもこれがどれくらい続くかはわからない。 	<p>四半期ごとの会計運営をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏期は、約85のサマーキャンプとシエラでの家族キャンプを運営しているため、多くの若者とスタッフ契約を結んでおり、臨時雇いも含まれる。 ・運営モデルでは、コアとなる常勤スタッフがいて、プログラムを行うのは実際には臨時的従業員である。 ・彼らは、現在、緊急保育に多く採用されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ベイエリア郡のすべての学区が5月1日まで閉鎖される。例年、学校は5月の第3週頃に終了し、6月の第1週にサマーキャンププログラムを開始するが、サマーキャンププログラムが現状どうなるかわからない。 ・カストディアン(施設管理・運営技術員)のピーク時の雇用に備えるための登録制度を行っている。青年労働者にとって登録のための面接は、面接の教育的な経験であり重要とされている。 ・現状は、社会的距離を保った面接を実施している。Webインタビューも実施している。現在、ボランティアプログラムはない。
<p>財務</p>	<p>COVID19による影響</p> <p>短期的展望</p> <p>長期的展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・COVID19に150億ドルもの経済的損失を受けている。 ・ニューヨーク市の公園予算は約5億8,000万ドル(約640億円)今後、建設関係の契約時期であるが予算演習を行いながら再検討する。 ・非常に厳しい予算演習になっている。 ・短期的には見通しは暗い、長期的な見通しには時間がかかる。 ・3月25日時点で、ファンドレイジングやイベントからの収入で公園運営を行っているパートナー(NY市とMOUを結び公園を管理している団体・組織)の財政が非常に懸念される。 ・彼らは基本的に稼いだ収入と募金活動が事業原資であり、現在すべてが保留になっている。NYCPDはパートナーの状態を把握できていない。 ・夏に向けた季節職員を採用している最中である。現在、収益に関するいくつかの問題が発生しているので、それを解決しようとしている。しかし、今の状況は良くない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・我々の組織は、非営利団体であり、固定資産税やその他の税金から通常の収入を得ていない。NYC,SFCの2都市とは状況が大きく異なる。 ・年間予算の調達はすべて、民間の資金調達である。 ・すべての業務を継続するための定期的な収入源がないため、キャッシュフローの状況を3月16日から検討し始めた。2020年度全体もさることながら今後の長期の運営を維持できるように考えている。 <p>※過去25年の間にピッツバーグ市の公園の機能を回復させるために、100億円以上の資金調達を民間から実行し、2018年、全市の公園の管理運営契約を締結、2019年には市の再整備予算の議案を住民投票で通した。</p> <p>※維持管理と運営管理の収支構造のバランスを取った仕組みが柔軟に状況の変化に対応できる要素となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間運営予算は約2億ドル。 ・7月1日から6月30日までの会計年度を四半期で運営している。 ・現在、第3四半期である3月にある。次の四半期は、事業収益はゼロになる。今後の我々には、3つの原資がある。 ① 6月30日までは、第3四半期の収益およそ2000万ドルを当てる。 ② 収益を使用して2月の家賃または最低年次保証を支払うという譲許を運営している公園には、たくさんの中小企業があるが事業はほとんど停止している。許可、特別なイベントはなく、駐車場は基本的に閉鎖されている。レクリエーションプログラムの料金はなし。通常の業務再開が決まったとしても、企業の復活には長い時間がかかる。政治のプロセスで、支援策についての検討はなされているがそれらを置き換えるのが非常に困難と言わざるを得ない。私たちは長い間予算を下回ることになる。 ③市財政からの2つの原資 ・オープンスペースファンドの割り当て 州の固定資産税収入の市割り当て分の引き当て。州の固定資産税100ドルごとに2.5セントを受け取る。現在売買中の不動産はなく、その一部である譲渡税は低くなる為、オープンスペースの資金調達に不安がある。

				<p>・市の一般会計の「私たちが頼んだ予算」 リソースが拡大されている多くの市庁があるが、市の緊急支出がかさんでいる状況でどこまで確保されるか楽観視できない。</p> <p>長期展望 私たちは列車の運行をやめた交通機関のようだ。直近3か月事業収入を切り崩し当面の2千万ドルを確保した、しかし長期化すれば、予算の影響は長い間、悲惨なものになる。</p>
<p>ポスト COVID19 に向けて</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・2019年に、公園システム全体、メンテナンス、プログラミング、資本プロジェクト、公園機能の回復のための長期的で公平な投資戦略を策定した。 ・市内の155の公園すべてに公平に投資する計画を市と策定し整備予算案が市民投票を通過し、現在議会と協議中である。 ・コンサーバンシーは、20数年もの時間をかけて、「ひどく資金が不足している公園への再投資」と、「都市で最も脆弱なコミュニティにおける公園の重要性について」、市行政と市民・企業の間でコンセンサスを築いてきた。この基盤があるのでCOVID19を乗り越えることができていると思っている。昨年策定した都市公園再生の計画をピッツバーグ市で実行できることを楽しみにしている。 	



WEBINAR | PARK LEADERS AND COVID-19: SERVING THE COMMUNITY IN CHALLENGING TIMES 25th March 2020

City Parks Alliance が主催して公開パネルが2020年3月25日(アメリカ東部時間)実施された。参加者は、チャットで質問をすることができる。多くの関心事は、①自治体、関連部署との連携の仕方、②今回での事象での組織体制、③雇用と財務についてであった。筆記記録と映像(約1時間)が公開されている。

<https://cityparksalliance.org/blog/webinar-recap-transcript-park-leaders-covid-serving-community-challenging-times/>

左から NYCPDMitchell Silver、PittsburghP.C.Jayne Miller、SFRPPPhil Ginsburg



画像クレジット: National Recreation and Park Association (NRPA) www.nrpa.org
注: より正確な説明であり、世界保健機関によって推奨されている用語であるため、「Social Distancing 社会的距離」ではなく「Physical Distancing 物理的距離」を表すように言語を更新(4/1)した。物理的な距離を保つことは COVID-19 の拡散を緩和するために不可欠だが、それは私たちが社会的にお互いから切り離さなければならないことを意味しない。

注:
日本語では、人との間隔、安全距離を保つ、安全距離は2mといった表現でよいのではないか。どれくらいの距離であるかは、具体的に数字で示す方がわかり易い。
ヤード・ポンド法を用いる国は人と人の距離 6ft.(約1.8m)としている。 ○←6ft.→○
メートル法のフランスは個々で1mの距離を保つ。 1m + 1m = 2m ←○→←○→←○→